

島原市地域公共交通協議会

平成 20 年 3 月 25 日設置
平成 21 年 3 月 23 日連携計画策定



概要

市内には鉄道やバス、フェリーなどの公共交通機関が存在するものの、人口の減少、高齢化の進展等により厳しい経営状況にあることから、既存の公共交通の利用促進、バス交通空白地帯の解消、利用効率の低いバス路線の解消を図るため、中心部循環線の実証運行、乗合タクシーの実証運行、バス待合い環境の向上等の事業を実施する。

〇買物ニーズに対応した中心部循環線の実証運行

森岳、霊丘、白山地域で市内中心部の商業集積地を循環するバスの実証運行を実施し、潜在需要の喚起を試行する。並行して利用促進の啓発を行う。

〇運行本数調整による乗り継便実証運行

有明地域で交通空白地域におけるコミュニティバス(ジャンボタクシー)を実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。並行して利用促進の啓発を行う。

〇バス停(待ち空間)の快適性向上

杉谷地域(農高前)でバス停の上屋整備を行い、学校等を含めた住民のバス利用向上を図る。

